

統一地方選

各党の戦略

——県議選で積極的な擁立が目立つ。

最終的に30人の公認・推薦を目指している。前回は14人しか擁立できなかった。2005年末段階で全国の県議数は自民党15000人に対して、民主党3000人。地方議員倍増のため、「県議30〜40人、さいたま市議は全区で擁立」という目標を立てた。そ

【民主党】(1日現在)

▽現有議席/定数

県議会 8/94

さいたま市議会 6/71

▽立候補予定者数

県議選 公認19・推薦8

市議選 公認10・推薦3

民主党県連 武正公一幹事長



「二大政党で議会活性化」

中

れに従って擁立してきた。

——まだ空白区もある。

有権者の選択肢を増やすため、2人区は必ず擁立、出来るだけ女性を登用

という目標を掲げた。ただ、政令市域は県議よりも市議を

目指す人が圧倒的多数で、その限りではない。実際に目標が達成出来ないのは東11区(三郷市)だけ。——有権者に十分な選択肢

を示せたか。全選挙区での擁立が政党に

求められているのはわかってる。一部選挙区で責任を果たしていないという問題意識は強く持っている。候補者の平均年齢は(自民党より)明

と知事サイドがなれ合いになる可能性がある。

——都市型選挙は政党を選ぶ選挙と言われている。(都市部でも)地方選は個人の名前で選ぶ傾向がある。ただ、今年は参院選もあり、地方選の意味は重い。公職選挙法改正により、首長選でローカルマニフェストが配れるようになった。(県議選と同

らかに若く、民主党の特徴が出ている。

——県議選の目標。

全員当選。地方議会に与

野党の別はないはずだ。議会を活性化し、首長へのチェック力を高め、提案責任を果たしていく。そのためにも自民・民主両党が競い

合い、議会の総合力を高めたい。(県議会の)二大政党化が必要だ。圧倒的な自

民党ではボス的存在の県議

が今後の宿題だ。

必勝態勢で頑張っている。

一つの選挙区に複数候補を擁

立出来るように進めていくの

が今後の宿題だ。